

愛南町には高速道路が必要だ！

道路特定財源を確保し、暫定税率を維持することが愛南町や愛媛県の道づくりを支えています

愛南町にとって高速道路は、東南海・南海地震等の自然災害や救急医療時の緊急輸送路として「命をつなく、安全・安心の道」だと考えます。

現在、本町と他市町を結ぶ唯一の道は、国道56号のみとなっており、物や人の移動に多くの時間を要し、身近な暮らしを支える安全・安心が危ぶまれている状況にあります。今号では、先月、開催した「愛南町の道路整備を進める総決起大会」での事例発表の主な内容を掲載し、今一度、高速道路整備の必要性を考えてみたいと思います。

町道の整備状況は

平成18年4月1日現在の町道改良率は、全国水準(55%)・愛媛県水準(48.5%)を下回り、45.9%という整備状況で、身近な生活道路の整備が遅れています。

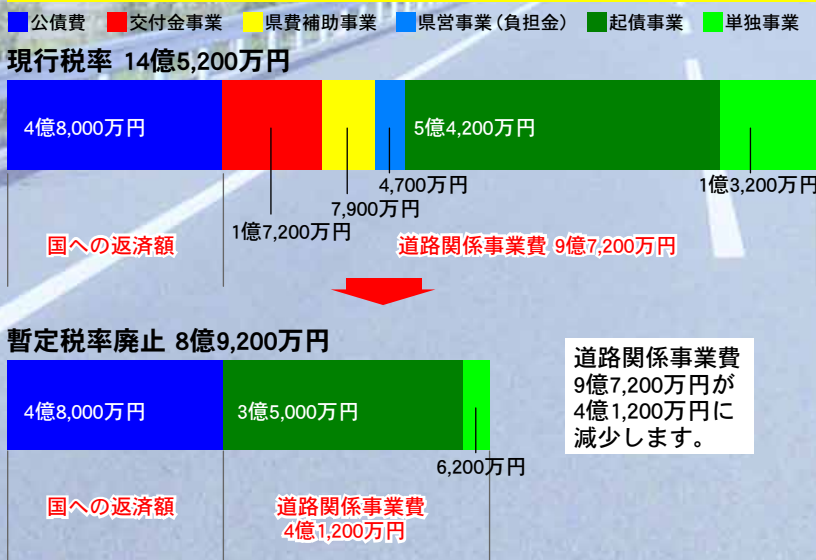
暫定税率廃止による町の収入は

平成18年度決算では、道路特定財源(暫定税率を含む)による歳入決算額が約2億6,000万円でしたが、暫定税率が廃止した場合の歳入決算額は、本則税率分の約1億4,000万円となり、暫定税率の上乗せ分の約1億2,000万円と、併せて道路整備臨時交付金(平成20年3月が期限)約9,400万円が減収することになります。

暫定税率廃止による影響額 平成18年度決算額(千円以下は、切捨て)

	本則	暫定	決算額(暫定)	本則分	減額分
地方道路譲与税	4.4円/ℓ	5.2円/ℓ	4,539万円	3,840万円	698万円
自動車重量譲与税	2,500円/0.5年	6,300円/0.5年	1億3,192万円	5,235万円	7,957万円
自動車取得税交付金	取得価格×3%	取得価格×5%	7,796万円	4,677万円	3,118万円
道路特定財源計			2億5,528万円	1億3,753万円	1億1,774万円
地方道路整備臨時交付金			9,438万円	—	9,438万円

暫定税率廃止による町の支出は(平成18年度道路関係事業費)



平成18年度の道路関係事業費は、町の一般財源1億8,000万円(公債費除く)に国からの交付金、県補助金、起債を加えた9億7,200万円の事業を実施しています。

暫定税率が廃止されると、交付金事業、県費補助事業、県営事業(負担金)の実施が困難になり、起債に財源を求める過疎対策事業(3億5,000万円)以外には、一般財源1億8,000万円から暫定税率上乗せ分の1億1,800万円を差し引いた6,200万円の単独事業しか実施できなくなります。

愛南町には高速道路が必要だ！ 久良漁協組合長 竹田英則さん

水産業から 高速道路を 考える



竹田英則さん

久良漁協では、タイやハマチ、ブリ等の魚類、約300万尾を養殖しています。現在は、原油高による燃料や飼料等の高騰の影響を受け、採算割れで出荷している状況が続いています。今後、安定した漁業経営をめざすためには「付加価値を付けること、原価を下げること」の2つが重要になると感じています。私たち生産者の努力は当然ですが、より早く新鮮な魚を大消費地である都市部に届けることも重要で、やはり高速道路が絶



対に必要です。しかし、現状は、愛南町から開通している西予市の高速道路インターチェンジまでの距離が約70km、その上、宇和島市での国道56号の慢性的な渋滞を考えると、輸送時間が計算できない状態です。大消費地である大阪や東京までの輸送に多くの時間を要しています。このことは、飼料等の養殖資材を運び上でも同様で、他地域に比べて輸送コストやリスクが高くなっています。

高速道路（8の字ルート）は、つながってこそ利用価値が高まります。その面は、行政の皆さんにこの場を借りて強く要望したいと思っています。最後に、食に対する不安が全国的に高まっています。将来、国内食料自給率の向上が求められてくると予想されますが、そんな時に、安全で新鮮な愛南町の水産物をより早く届けることで、愛南町の存在価値を高めたい。そんな思いで一杯です。ですから、直ぐ

にでも高速道路の整備を着手してもらいたいと切望しています。

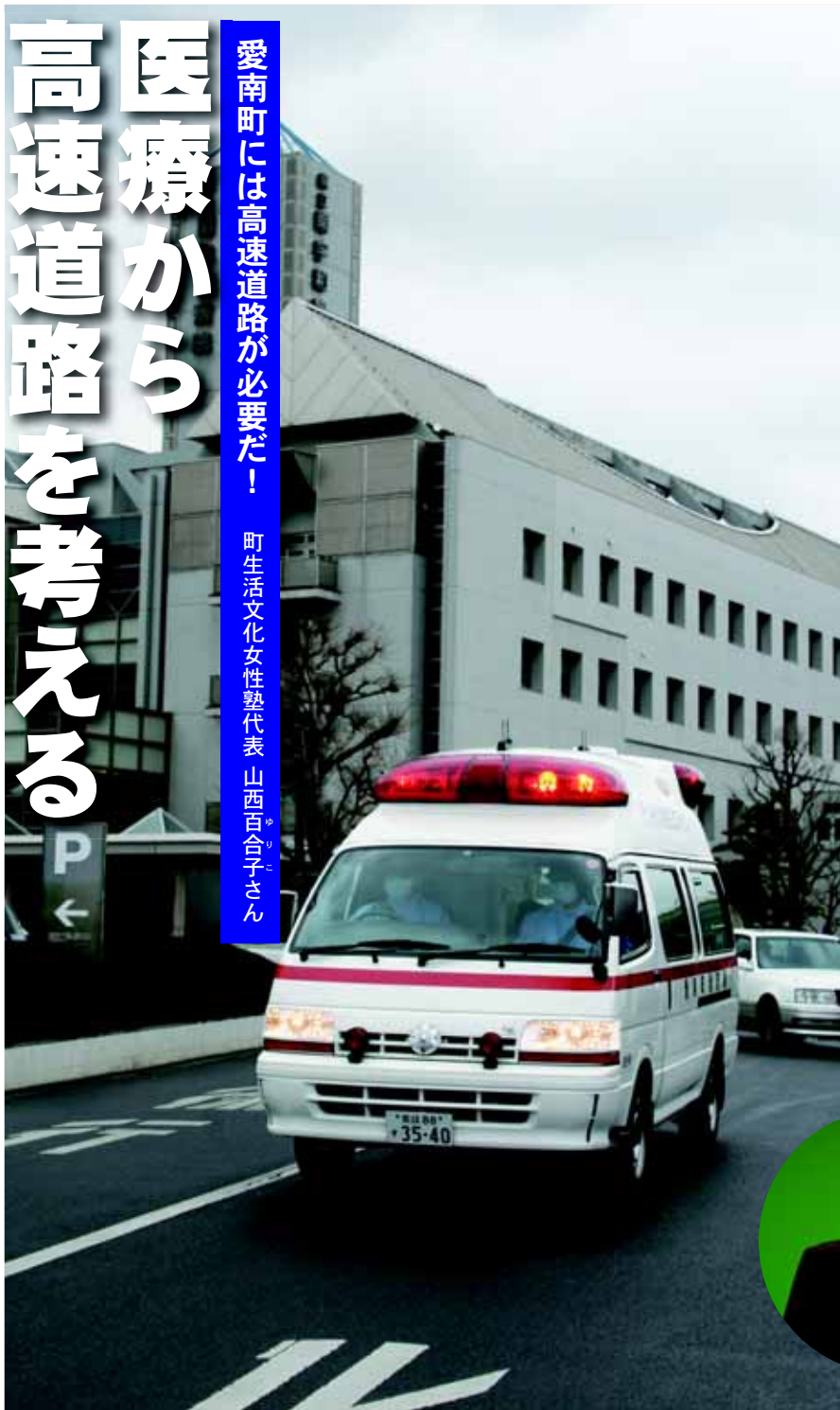


養殖魚（タイ）の出荷（撮影協力：萬漁水産）

医療から 高速道路を考える

愛南町には高速道路が必要だ！

町生活文化女性塾代表 山西百合子さん



現在、町内で唯一の総合病院である県立南宇和病院は、2次救急医療機関になっています。そのため、救急患者の約93%を収容していますが、麻酔医の常駐がなく、土曜日や日曜日に麻酔医が不在のために手術ができない、呼吸管理ができない等の理由で、1時間以上もかかる管轄外の医療機関に搬送するしかない状態です。さらに、麻酔科以外でも、医師が常駐していない診療科が増えている状況で、重篤な状態になった場合、高度な

医療が受けられる宇和島市の病院までの距離が約47km、1時間以上の時間を要する現状を考えれば、搬送患者の車酔いや病状悪化等、生命の安全が危ぶまれます。また、平成19年度は、44件の救急患者管轄外搬送があり、中には松山市や宿毛市、四万十市への搬送もあります。この他、患者を収容した現場から、直接、救急患者を管轄外搬送する場合もあるようです。

と、不安で安心して暮らすこともできません。誰でも、何時でも、安全・安心で良質な医療を受けられる環境整備を望まずにはいられません。私は、愛南町にとって「命の道」となる高速道路整備を強く希望します。



山西百合子さん



福祉移送有償サービス（撮影協力：町社会福祉協議会）

愛南町には高速道路が必要だ！ 愛南地区青年農業者協議会長 小野山高広さん

柑橘栽培から 高速道路を考える



小野山高広さん



私は御荘平山で、美生柑^{みしょうかん}、甘夏柑を始めたとする柑橘栽培をしていますが、高速道路だけではなく、栽培園での肥料や柑橘類の運搬等、身近な農道や生活道の整備も必要だと感じています。

私たち生産者も食の安全性を保ち、安心して美味しい農産物を供給することが大切だと感じています。

愛南町は愛媛県の最南端にあり、道路事情も大変悪く、県都松山市に行くにも3時間10分程度の時間を要します。日常

生活の上でも、買い物等の選択の幅が狭く、不便さを感じています。また、松下寿が撤退してからは、他に替わる企業の進出もなく、第一次産業である農業や漁業に従事する以外は、就職がないような状況が続いています。

高速道路には、農産物の販路拡大だけでなく、農業用資材の輸送コストの削減等、物や人の交流を活発にする大きな利点があります。町も第一次産業の活性化をめざし「愛なんプラン

ド」を作ろうと、様々な支援をしてくれています。高速道路の有無が、その成否を分けるのではと考えています。

今後、行政と農業従事者が連携し、持続的な愛南町の活性化を図っていきたく思います。そのためにも、道路特定財源の暫定税率を維持していただき、少しでも早い高速道路の完成をめざしてほしいと思います。



甘夏の出荷 (撮影協力: JA えひめ南マルエムフルーツアイランド)